

発行者の略号		東書	大日本
書名		あたらしい せいかつ	たのしい せいかつ
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	児童・保護者・教師など、学びを支える全ての人々が生活科の「学び」を共有し、連携できるようになっている。	「見る」「さわる」といった諸感覚を活用し、子どもが体全体を使って対象に働きかける生活科活動を引き出すことを意識した構成になっている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	・育成すべき3つの資質、能力を吹き出しとイラストで具体化している。 ①「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」など、学習活動に即した習慣や技能が身に付けられる資料が設けられている。 ②気付いたことを表現し、考える多様な表現活動や交流活動が豊富に示されている。 ③自分のよさや可能性に気付き、意欲や自信をもって、学んだり生活を豊かにしたりしている姿が具体的に示されている。	①巻末資料「がくしゅうどうぐばこ」に豊富な資料を掲載し、基本的な知識や技能の取得が図れるように配慮している。 ②答えを示すのではなく、児童自身に考えさせるための投げかけを示すことで、思考力がはぐくまれるように配慮している。 ③活動後のふり返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながる流れを意識して紙面を構成している。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①安心、安全に配慮した資料で適切な習慣や技能が身に付くよう配慮している。 ①身近な自然と繰り返し関わったり、動植物を継続的に飼育、栽培したりする活動が豊富に設けられている。 ①昔から伝わる伝承遊びや、草花遊び、伝統行事、節気、節句や季節の行事をイラストや写真で紹介している。	①長期の飼育、栽培活動などの体験を通じて、生命尊重の心情が育まれるよう配慮している。 ①巻末資料で自分の身を守るための習慣や技能が身に付くよう配慮している。 ①昔遊びや地域の行事などを通して、日本の伝統、文化に愛着がもてるよう配慮している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①対話しながら学びを深めている姿などを例示し、生活科の「深い学び」を具体的にイメージできるような「学びをふかめる」コーナーが設けられている(下巻)。上巻は、振り返り活動を通した深い学びの例を掲載している。 ②紙面右端に他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面を例示している。 ②第3学年以降の理科や社会科、総合的な学習の時間にも活用できる「学び方」が示されている。 ③活動を振り返ったり、気づいたことを交流したりする言語活動が充実している。 ④昔から伝わる遊びや地域の行事等が豊富に掲載されており、郷土や地域に関する教育の充実に配慮されている。 ⑤概ねよい。 ⑥スタートカリキュラムに配慮し、小1プロブレムに対応している。 ⑦インターネットやタブレット端末等を利用して、情報を活用していく活動を促している。保護者と学ぶデジタルコンテンツが充実している。 ⑧学習の流れを示したホワイトボードが挿絵に描かれており、インクルーシブ教育への配慮がなされている。 ⑨小単元名や本文などを定位置に配置することで、すべての児童が読みやすいように配慮している。	①表現活動を適切に位置付けており、絵や動作化、劇化など、多様な表現方法の例示や伝え合いによる学びの共有化を促している。 ②合科的・関連的指導が効果的と思われる場面には、マークで示されている。 ③話形を示すことで、子ども自身の言葉を引き出そうとしている。 ④昔遊びや地域の行事等に興味が持てるように配慮している。 ⑤児童の試行錯誤が生まれるような環境構成で、繰り返し活動を促している。 ⑥スタートカリキュラムに配慮したページが設けられている。また、活動ごとの時間のめやすを示すことで、入学直後の柔軟なカリキュラム編成ができるように配慮している。 ⑦タブレット端末等の情報機器活用例が示されている。 ⑦デジタルコンテンツを用意し、活動に際して参考となる資料を準備している。 ⑧概ねよい。 ⑨児童から出てくるであろう言葉を記載することで、具体的活動のイメージや活動の見通しをもつことができるようになっている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ねよい。 ②大判の紙面(A4)で見やすくなっている。また、軽くて丈夫な紙を開発し、児童が教科書を持ち運ぶ際の負担軽減を図っている。 ③ユニバーサルデザイン(フォント、カラー、)で統一されている。また、様々な子どもが判読しやすいように、全ての漢字にルビを付し、文節で改行している。	①概ねよい。 ②サイズの違うページや透明シートを使用したページ、モノクロでイメージを膨らませるページ等を設けている。 ③ユニバーサルデザイン(フォント、カラー)ssに配慮している。また、児童の興味、関心を高める写真やイラストを豊富に掲載するために横幅が大きいAB判を使用している。	
(イ) 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①学びを深める掲示物や板書例が記載されており、教師が参考にしやすくなっている。 ①巻末の「ポケットずかん」により、自分で調べる習慣を付けたり、気付きの質を高めたりすることができるようになっている。 ① 巻末の「べんりてちょう」で習慣や技能、学び方が身に付くようになっている。	①虫とその名前等、すぐに答えを示さず、子ども自身でたどり着くことで子どもの気付きを確かなものにしようとしている。 ①教師が教える場面と、児童が考える場面のバランスを配慮し、教師の支援を適切に盛り込み、深い学びを支えるヒントを示している。 ①気付きがより深まり、広がるような情報を右端コラムに掲載している。
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②身近な幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人など多様な人々との関わりが、写真や挿絵の中でさりげなく示されている。 ②幼児との交流を通じて、自己の成長を実感できるよう、互惠的、継続的な幼少交流活動が随所に位置づけられている。	②身近な人々との関わりが活動を通して自ずと生まれ、深まっていくような内容となっている。 ②四季との関連性に留意しながら、身近で一般的な自然対象を取り上げながら、その魅力や不思議さに気づかせるよう工夫している。
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③吹き出しとイラストで生活科の見方・考え方を生かした学びの姿(学びのプロセス)を具体化して示している。 ③巻末の「べんりてちょう」では、「ためしてみよう」「見通しをもとう」などの思考を促す学習活動例が示されている。	③巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、児童が諸感覚を働かせ、体全体で対象と関わることを促している。 ③上巻「たんけんカメラ」が付いており、児童が主体的に対象物を見付けたり、気付いたりしたことを表現できるようになっている。 ③栽培活動では2種類を育てる等、活動環境を工夫することで、子ども自らが問いをもつように配慮している。

	発行者の略号	学図	教出
	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	せいかつ
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	自己決定できる子ども、他者との関わりで変容できる子ども、自分の成長を自覚できる子どもを育てることを意識して構成されている。	新しい教育課程が目指す生活科を意識して編集されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①活動を通して、公共におけるマナーなど、安全な行動や規則正しい生活ができるように注意マークやイラスト、子どもの言葉を書く単元に設定している。 ②単元末では多様な表現でまとめ、振り返るように工夫している。 ③単元の終わりには、活動後の自信をもった子どもたちが、次の活動への意欲をもてるように配慮している。	・生活科で育成する資質・能力を「サイコロ」で示し、子ども、教師、保護者にも見た人全てに学習の「めあて」がつかめるようになっている。 ①概ねよい。 ②「もしも」のページでは、様々な「もしも」を問い掛け、予測困難な社会の変化に主体的に関わる力を引き出したり、低学年ならではの豊かな発想を広げたりすることを大切にしている。 ③概ねよい。
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①栽培・飼育単元では、生き物と直接ふれ合ったり、一定期間育てたりする活動を通して生命を尊重する心や、環境を大切にする心が育つよう配慮している。 ①子どもたちが生活している地域社会での、伝統的な行事をできる限り紹介し、積極的に参加できるように配慮している。	①主体的に飼育・栽培活動をしたり、多様な人々と交流し共同的に学習したりする具体的な体験活動が設定されている。 ①地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が豊富に掲載されている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①子どもの自己決定の場や対話の場面を大切にしている。 ①子どもの主体的な活動を支援する「学び方図かん」により、自分で活動を広げていけるように配慮されている。 ②概ねよい。 ③発達段階に配慮したノートやカードの記録の仕方を掲載している。 ④地域の行事やお祭り、伝統的な遊びを取り上げ、郷土や地域に関する教育に配慮されている。 ⑤概ねよい。 ⑥スタートカリキュラムでは、子どもの不安を取り除き期待感をもたせるように配慮している。また情報量の多い写真を排しイラストと短い文のみで構成している。 ⑦タブレット端末等の情報機器の活用が例示されている。 ⑧概ねよい。 ⑨二段階の学びの構成で、問題解決能力が付くようになっている。	①主体的、対話的で深い学びへと導く「振り返り」を設定している。 ②巻末の「学びのポケット」で、他教科等と合科的・関連的な指導をすることで学習効果が高まるものを記載している。 ③概ねよい。 ④地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が豊富に掲載されている。 ⑤概ねよい。 ⑥上巻の導入は幼児期に親しんだ絵本を取り扱うなど、徐々に学習へと移行するスタートカリキュラムを位置付けている。 ⑦web情報「まなびリンク」を活用し、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。タブレットや投影機などを使った授業展開が提示されている。 ⑧概ねよい。 ⑨資料ページには、答えを探すために教科書を隈なく見る工夫がされている。 ⑨「わたし」を投影するキャラクターとして「いぐら」を採用している。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①活動や体験の場が、1年では学校や学校周辺、2年では地域へと広がるように配慮されている。 ②本文はすべて見開き単元で構成され、本文の見出しやカードの位置をそろえることで分かりやすく表現されている。 ③ユニバーサルデザインの考え方をもとに、装飾や指示、アイコンなどを最低限にするなど、シンプルで分かりやすい紙面の構成を心がけている。	①低学年児童に適した大きい紙面（AB判）を使用している。 ②昨今の気候変動に配慮し、真夏の活動は校内で設定している。 ③植物の成長など、比較が分かりやすい誌面になっている。 ③ユニバーサルデザイン（フォント、カラー、配色、レイアウト）で統一されている。また、障がいがある人が描いた「パラリンアート」を掲載している。	
(イ) 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①キャラクターのつぶやきや教科書に載っている投げかけで子どもの気付きの質を高めるように配慮されている。 ①教科書に掲載しているカードには教師の朱字が入っていて、子どもの気付きを価値付けていけるように配慮されている。	①「はてな」キャラクターの具体的な投げかけで、気付きの質を高めようとしている。
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②身近な幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人等との関わりが示されている。 ②活動後には、「ありがとう」の感謝の気持ちを大切にし、感謝の気持ちを伝える場を多く設けている。	②高齢者、外国人、幼児、障害のある人などと一緒に活動を行ったり、交流したりする活動が設定されていて、同じ学校や地域で、共に生活していることに気づき、適切な行動ができるように配慮されている。
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③単元全体を「どきどき」→「いきいき」→「ふむふむ」→「にこにこ」の4つの段階に分け、そのページが単元のどの段階に位置するのかが、一目で分かるようになっている。 ③学習活動が根付くように巻末の「学び方図かん」には学習活動へのポイントが載せてある。 ②「ものしりノート」では、記録の取り方やもの作りなどの活動の参考例が記載されており、児童の興味・関心を高めるように配慮している。	③「まんぞくはしご」を各単元の終わりに設け、キャラクター（いぐら）よりも自分の思いは上か下かを比べて自己評価ができるようになっている。「ひと」コラムを設け、見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの学習活動を繰り返し提示している。

	発行者の略号	光村	啓林館
	書名	せいかつ	わくわくせいかつ(上) いきいきせいかつ(下)
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	「見方・考え方」を生かした活動の実現、「主体的・対話的で深い学び」「スタートカリキュラム」の実現を目指し編集されている。	「わくわく」と何度も見たくなる、「いきいき」と生活できる、「ぐんぐん」と成長できることを目指し編集されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①子どもが自分との関わりで学習を捉えられるよう、日常生活やこれまでの経験から学びにつなげられるようにイラスト・写真・発問が工夫されている。 ②思考力を育む「どうすれば」コーナーが設けられている。 ③学びを広げる資料が巻末に掲載されている。	①各単元や巻末に豊富な資料が掲載されており、知識・技能を習得する手助けとなっている。 ②他教科との関連を図りながら、言葉・絵・動作・劇化など多様な表現活動が例示されている。 ③単元末の「ぐんぐん」の紙面では、学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えとなり、学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする態度を育てられるよう意識して構成されている。
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①各地域の伝統行事等を示し、身近な伝統文化に目を向けるきっかけとなるよう配慮している。	①飼育や栽培を通して、生命の誕生や命のあたたかさなどにふれ、生命の大切さや慈しむ心を育てるとともに、生命の連続性に気付くように配慮している。 ①季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるようになっている。
(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①児童同士で協働したり、教師や地域の人たちと対話したりする活動を随所に位置付けている。また、貼り替え可能なシールを使って、1年間の学びを視覚化して振り返ることができる。 ②他教科との合科、関連や中学年への接続の例を豊富に示している。 ③体験活動をまとめる際には、言葉や絵、動作、劇化等の多様な表現方法を例示している。 ④各地域の伝統行事等を示し、身近な伝統文化に目を向けるきっかけとなるよう配慮している。 ⑤諸感覚を通じたものに加え、見付ける、比べる等の体験活動例を示している。 ⑥スタートカリキュラムでは、児童が安心感と自信、期待感をもって学校生活を始めることができるように配慮している。 ⑦教科書の二次元コードを読み取ることで、写真や動画を見ることができる。また、ICT機器の活用例を掲載している。 ⑧振り返りの観点が示されているため、児童が振り返る際に参考となる。 ⑨子どもたち自身が単元の学習過程を確認できる「見通し」コーナーが設けられている。	①「めぐり言葉」で次の活動への思いや願いを例示し、活動の連続性や広がりをもてるようにしている。 ②合科的、関連的な学習活動の例が示されている。また、下巻巻末のステップブックにより、中学年への接続に配慮している。 ③「ことばのヒント」を設け、表現に必要な言葉が例示されている。 ④季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるようになっている。 ⑤「いきいき」の段階で、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動を大切にしている。 ⑥スタートカリキュラムに特化した別冊指導書が作成されており、教師の指導をサポートしている。 ⑦QRコードを読み取ると、幼児期に親しんだ歌や手遊びの動画が閲覧できる。 ⑦タブレット端末等の情報機器活用例が示されている。 ⑧概ねよい。 ⑨学びのプロセスを考慮し、活動の流れを3段階で分かりやすく示している。	
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①児童にとって身近で親しみやすい対象や、興味関心をもちやすくイメージしやすい活動例を示している。 ②概ねよい。 ③季節の変化をダイナミックに感じられる写真やイラストが掲載されている。 ③ユニバーサルデザイン(書体、カラー、配色や色調)で統一されている。	①概ねよい。 ②左上の小単元名(学習活動)と紙面右下のめぐり言葉がつながっており、活動の中で生まれた「気付き」や「児童の思いや願い」が次の活動につながるようにストーリー化している。 ②上巻巻頭「すたあとぶっく」は、紙面のサイズを小寸にし、角を丸く裁断することで絵本のような紙面にしている。 ③ユニバーサルデザイン(フォント、カラー、小単元名など要素の位置を固定するレイアウト)で統一されている。	
イ 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①巻末「ひろがるせいかつじてん」では、挨拶や手洗い、町探検の約束など、生活上必要な習慣や技能を確認し、定着を促すようになっている。 ①単元導入時の発問や活動時の言葉かけなどが示されている。 ①各単元の「ジャンプ」には、学習過程で気付きの質が高まっている児童の発言例を豊富に示している。 ①学習活動の流れの中で自然と身につくように位置づけている。	①巻末「がくしゅうずかん」では、記録の仕方や話し合いのヒント、ルールやマナーなど、汎用性が高い資料が掲載されている。 ①キャラクターの吹き出しで気付きのヒントが示されている。 ①子どもの思いや願いの連続性を大切にしており、活動が繰り返し深まることで気付きの質を高めるよう配慮している。 ①気付きを共有化、可視化するための、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されている。
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②身近な幼児や高齢者、障がいのある人との交流などをイラストや写真で示している。	②身近な幼児や高齢者、障がいのある人との交流などをイラストや写真で示している。
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③学びを確かなものにする「ホップ:計画する」→「ステップ:活動する」→「ジャンプ:活動を振り返る」の3段階で構成されているため、児童が見通しをもって学習に臨むことができるようになっている。	③「わくわく:意欲の喚起」→「いきいき:直接体験」→「ぐんぐん:表現活動」の3段階構成になっており、活動の流れを分かりやすく示している。 ③児童の思いや願いを高める「わくわくボックス」のページが設けられている。

	発行者の略号	日文	
	書名	わたしと せいかつ	
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	学びの芽をしっかりと育て、未知なる課題に向き合い、未来を切り拓く子どもを育むことを目指して編集されている。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	・育成すべき資質、能力の3つの柱に基づいた学習のめあてが小単元の左下に示されている。 ①巻末の「ちえとわざのたからばこ」は必要な知識及び技能、習慣が身に付くよう配慮されている。 ②学びが深まる板書や多様な表現手段が示されている。 ③意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりする経験を繰り返すことで安定的な態度を養うことができるよう配慮している。	
	(i) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①自然の事物・現象に直接触れる体験や動植物を自分たちで継続的に育てる活動を続けながら自然のすばらしさや生命の尊さを実感できるよう配慮している。 ①伝統文化や郷土の特色などに児童が関心をもって関わる学習活動の事例が示されている。	
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①見開きの右下に学習カードや学びのまどを配置し、学習活動を振り返る内容や次の学びにつなげる内容を示している。 ①具体的な思考ツールの活用例が示されている。 ②理科や社会科への接続を意識した内容が掲載されている。また、各教科等の学びを生かす事例も掲載している。 ③概ねよい。 ④伝統遊びや地域文化を体験できる構成などが挙げられている。 ⑤概ねよい。 ⑥上巻巻頭にスタートカリキュラムを特設している。 ⑦デジタルカメラや実物投影機、タブレット端末、電子黒板の活用など、ICT 活用の場면을例示している。 ⑧すべての漢字にふりがなを付け、読みやすくしている。 ⑨数ページを「やまおろ」することで、植物の成長過程が一覧できる立体のしかけがある。	
	(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ねよい。 ②小単元ごとに「タイトル」、「児童の言葉」、「学習のめあて」を示し、授業で押さえるべきポイントを分かりやすく掲載している。 ②上巻巻頭のスタートカリキュラムは、紙面の角を丸く裁断している。 ③ユニバーサルデザイン(フォント、カラー)で統一されている。 ③対話的、協働的に友達と関わる姿の写真が多く掲載されている。	
(イ) 教科・種目別の観点	①知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	①巻末資料「ちえとわざのたからばこ」では、観察の仕方や考える技、インタビューの仕方、用具の使い方など、知識(習慣)及び技能を身に付けることができる学習材を掲載している。 ①単元内に「ポケット図鑑」が織り込まれており、その単元の学習ですぐに使える内容が掲載されている。	
	②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	②友だち、教師、家庭、地域で暮らす人々が登場し、「ひと」と交流する場面が例示されている。	
	③児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	③小単元の展開場面など学習課程全般が「考えるための技法」をベースに構成されている。	